

2024年12月期
決算説明資料

株式会社 エージェント・インシュアランス・グループ

証券コード：5836

2025年2月



- 01 | 2024年12月期 決算概要
- 02 | 2024年12月期 トピックス
- 03 | 2025年12月期 通期業績見通し





営業収益

8,161百万円

前年同期比 +130.1%

対業績予想 達成率

105.1%

2024年12月期



100.0%

営業利益

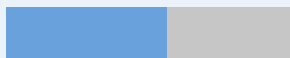
143百万円

前年同期比 ▲7.7%

対業績予想 達成率

52.1%

2024年12月期



取扱保険料

1,459億円※1

2023年12月末比※2 +282.3%

24年12月期 内訳

エージェントIG 420億円

FJ 1,038億円

お客様の数

法人



24,121社※1

2023年12月末比※2 +74.2%

個人



311,837人※1

2023年12月末比※2 +118.8%

国内事業

3Q以降連結対象となったファイナンシャル・ジャパン（FJ）の寄与等もあり、営業収益や各種KPIが大きく増加。M&A及び事業承継の取組みと、既存のお客様へのクロスセルが進み、トップラインが拡大

海外事業

新規保険獲得件数が増えたことや、既存の法人・個人のお客様へのクロスセル等で営業収益が増加
体制強化のための人件費等の増加により、営業利益は減少

成長戦略の進捗

FJ等の大型案件のほかM&A及び事業承継を年間で62件実施
これまでの累計で593件のM&A及び事業承継が完了

※1 エージェントIGとFJ（ファイナンシャル・ジャパン株式会社）の合算値

※2 2023年12月期はFJを含まない数値



2024年12月期 業績予想に対する差異

- 営業収益は好調な国内事業が寄与し業績予想を上回る
- さらなる業務品質の向上やグループ拡大の基盤を整えるための人員強化を目的に先行投資を実施し、利益水準は想定を下回る

(百万円)	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
2024年12月期 前回発表予想	7,763	274	261	152
2024年12月期 実績	8,161	143	133	53
業績予想との差異	+5.1%	▲47.9%	▲48.9%	▲65.0%
主な要因	2024年4月に取得した FJの生保手数料収入等 が想定を上回る	今後の業界再編を見据えた先行投資を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務品質のさらなる向上を目指した体制強化 ・ グループ拡大の基盤となる保険募集人の確保 		



2024年12月期 損益計算書サマリー

- FJの業績も寄与し、**営業収益は2倍以上**の規模へ成長
- 積極的なM&A及び事業承継で人件費がUP、また業務品質及びガバナンス体制強化に向けた管理コストを大幅に投下したことで、国内事業の利益水準は前期並み、海外事業は減益となった

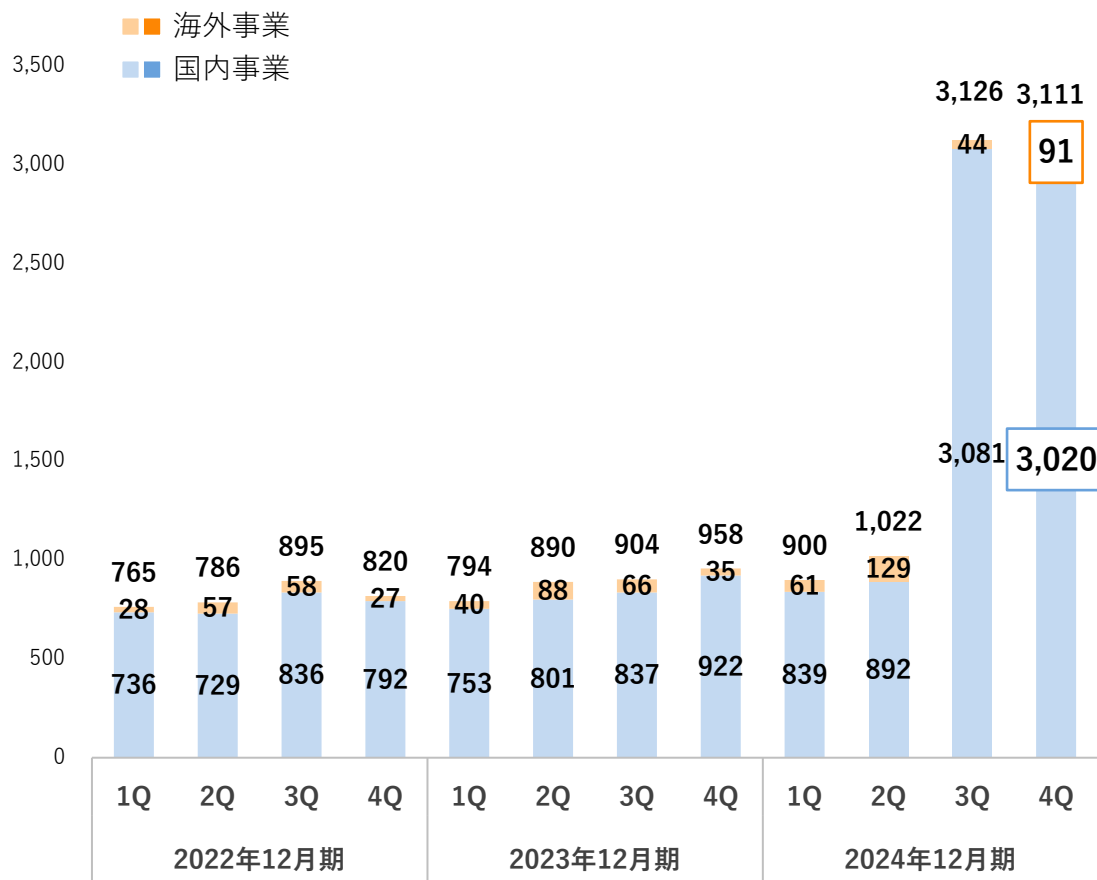
(百万円)	2023/12期		2024/12期			
	実績	営業収益比	実績	営業収益比	増減額	増減率
営業収益	3,547	100.0%	8,161	100.0%	+4,613	+130.1%
国内事業	3,315	-	7,834	-	+4,518	+136.3%
海外事業	232	-	327	-	+95	+41.0%
営業費用	3,392	95.6%	8,018	98.2%	+4,625	+136.4%
人件費	1,503	-	2,561	-	+1,058	+70.4%
管理費	1,889	-	5,456	-	+3,567	+188.8%
営業利益	154	4.4%	143	1.8%	△11	△7.7%
国内事業	112	-	112	-	+0	+0.2%
海外事業	42	-	30	-	△12	△28.8%
経常利益	154	4.4%	133	1.6%	△20	△13.5%
当期純利益	102	2.9%	53	0.7%	△48	△47.8%



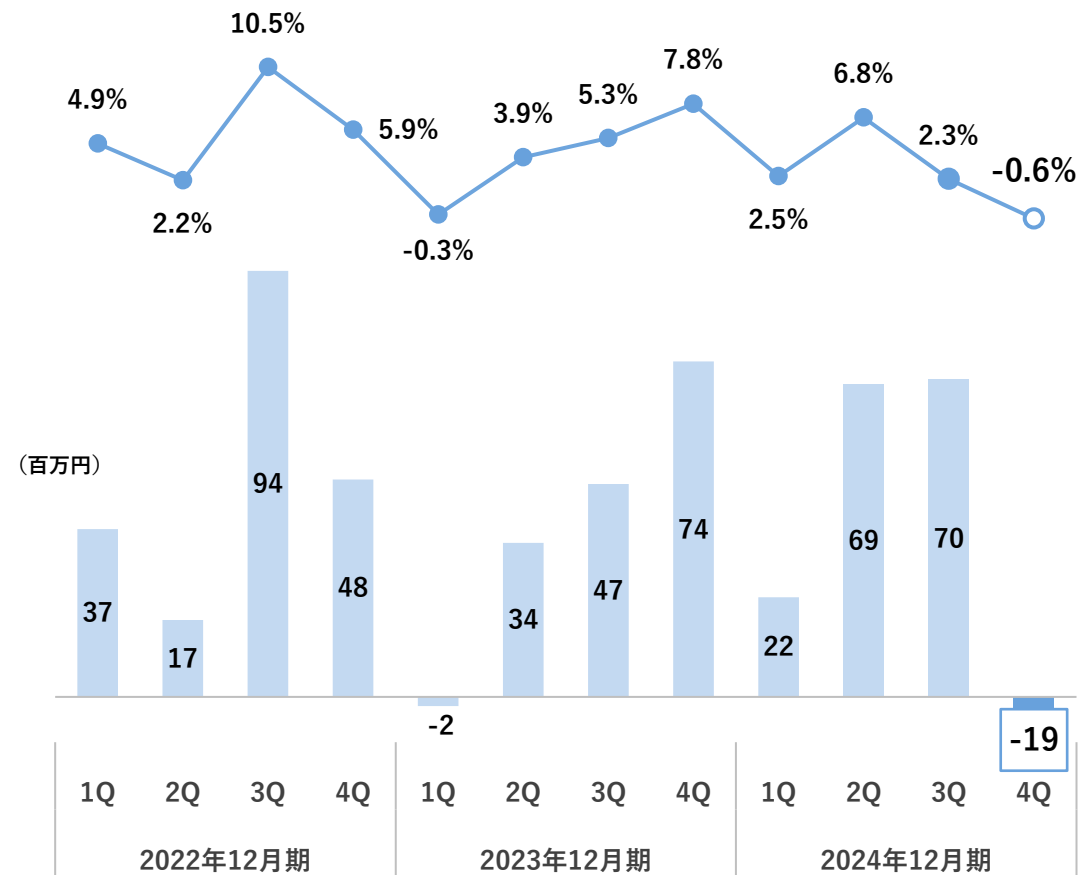
連結業績推移（四半期）

- 国内事業の営業収益は例年の3倍以上に拡大
- 4Q会計期間では営業収益を営業費用が上回りマイナスとなる

営業収益（百万円）



営業利益・営業利益率（百万円）

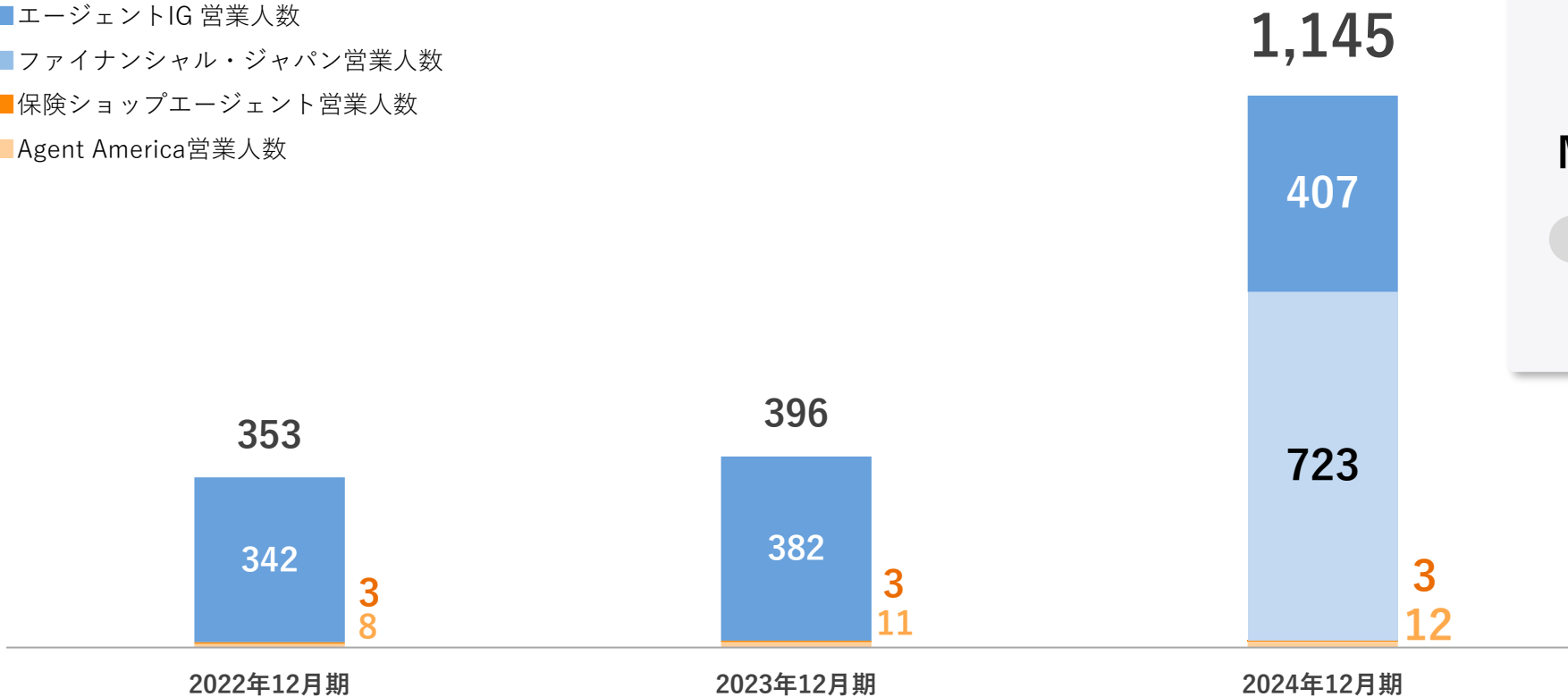




- グループの収益の源泉となる営業社員数は大きく増加
- 2024年12月期 は年間で**62件のM&A及び事業承継**を実施

グループ全体の営業社員数 (人)

- エージェントIG 営業人数
- ファイナンシャル・ジャパン営業人数
- 保険ショップエージェント営業人数
- Agent America営業人数



2024年12月期
M&A 及び 事業承継
累計 **62件**

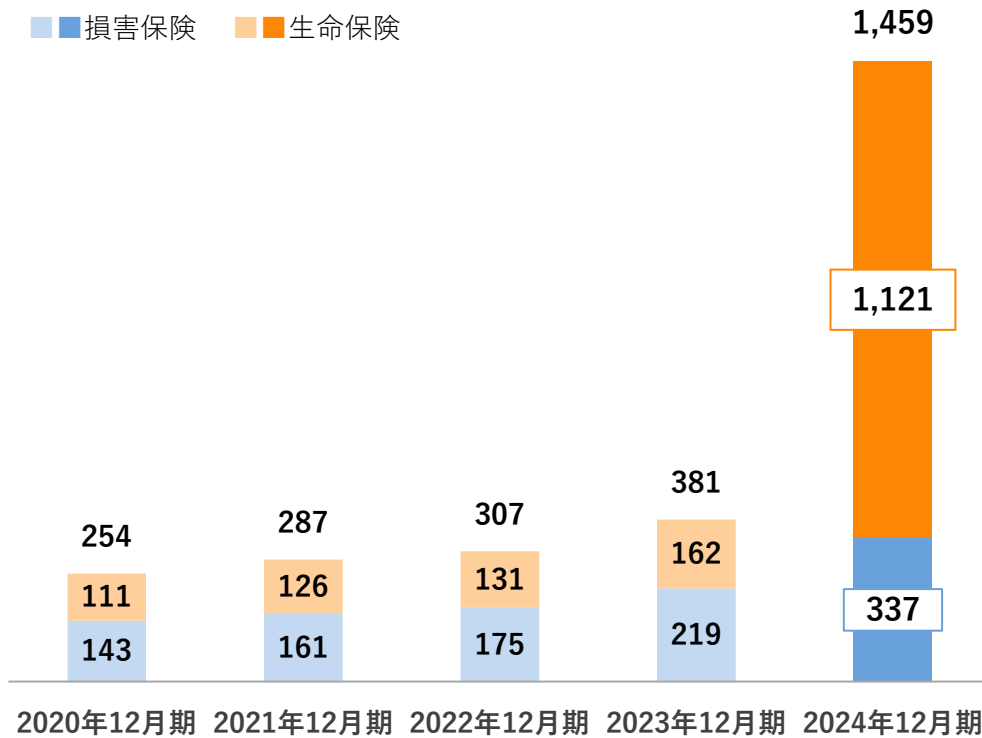
当3Qより、従来のKPI「パートナー社員及び勤務型代理店数（単体）」を「営業社員数（グループ全体）」に変更。



- FJの合流により生命保険の取扱保険料が約7倍に、全体の取扱保険料は前期末比約4倍の規模にまで拡大
- お客様の数も大きく拡大し、全体で約2倍の顧客基盤に成長

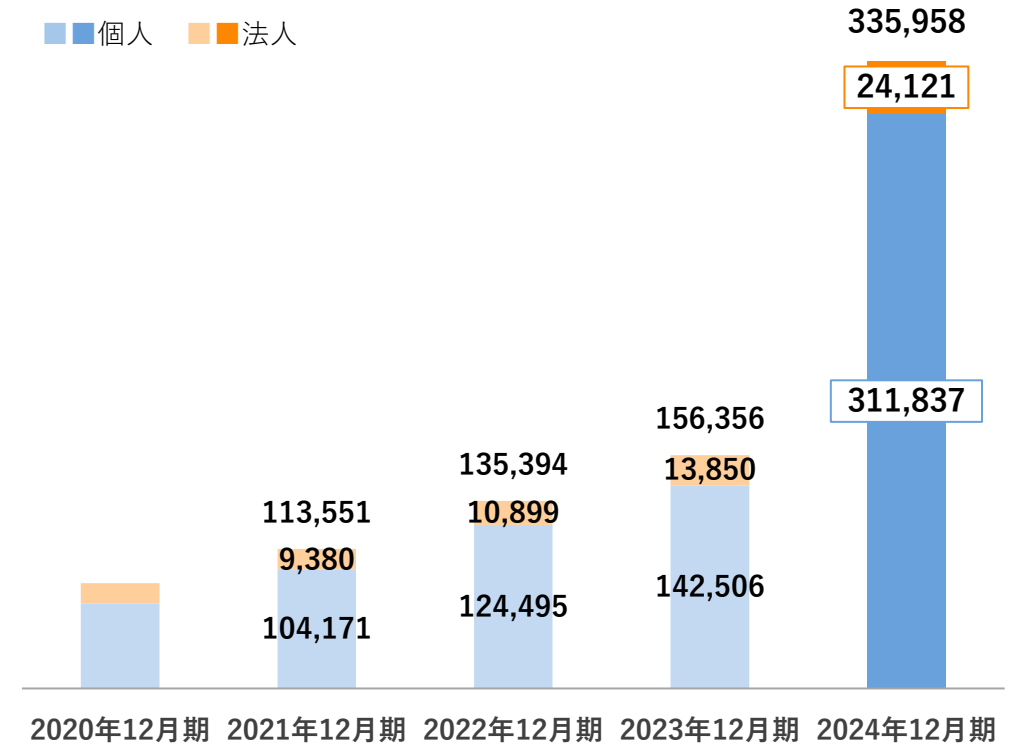
取扱保険料 (億円)

■ 損害保険 ■ 生命保険



お客様の数 (人/社)

■ 個人 ■ 法人



※当3Qより、エージェントIGとFJの取扱保険料の合算値
 ※取扱保険料：年度末時点でお客様から受け取り保有している保険料

※当3Qより、エージェントIGとFJのお客様数の合算値
 ※2021/12期より集計方法を変更したため、2020/12期のグラフは参考



2024年12月期 貸借対照表サマリー

(百万円)	2023/12期	2024/12期	増減額	備考
流動資産	1,592	3,458	+1,866	主に現金及び預金が1,071百万円増加、売掛金が705百万円増加したことによるもの
固定資産	555	1,749	+1,193	主にのれんが864百万円増加したことによるもの
資産合計	2,148	5,208	+3,060	—
流動負債	688	2,937	+2,248	主に営業未払金が1,265百万円増加したことによるもの
固定負債	249	962	+712	主に長期借入金が720百万円増加したことによるもの
(有利子負債合計)	341	1,206	+865	—
負債合計	938	3,899	+2,961	—
純資産	1,209	1,308	+98	主に親会社株主に帰属する当期期純利益の計上により利益剰余金が53百万円増加したことによるもの
負債・純資産合計	2,148	5,208	+3,060	—
自己資本比率	56.3%	24.6%	△31.7pt	



- 01 | 2024年12月期 決算概要
- 02 | 2024年12月期 トピックス
- 03 | 2025年12月期 通期業績見通し





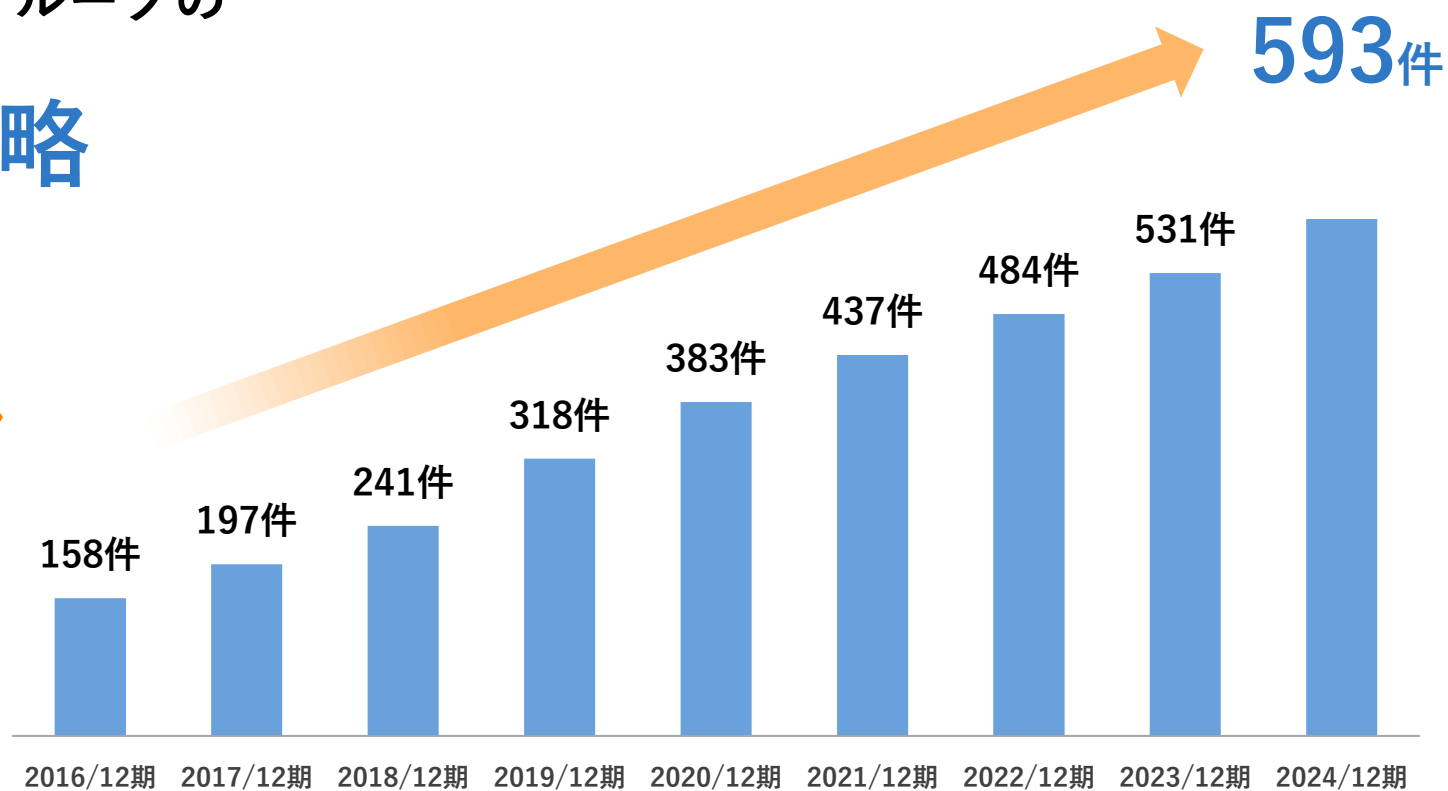
- 当期は大型案件のほか**62件のM&A及び事業承継**を実施
- 統廃合の進む保険代理店業界において、今後も積極的なM&A及び事業承継を継続

エージェント・インシュアランス・グループの

M&A 及び 事業承継戦略

保険代理店の成長や発展を促進

合流代理店件数 **593件**^{※1}



※1：当社がM&A及び事業承継を行った累計件数（2016年1月～2024年12月）



2つの重要M&A

- 2024年4月にファイナンシャル・ジャパン、2025年1月にコスモアビリティを迎え入れ、企業規模を大きく拡大
- 成長戦略に沿った「テクノロジーの活用」、「M&A及び事業承継」に向けた施策を実施

2024年4月 | ファイナンシャル・ジャパン



特に生命保険領域の拡大
保険に限定されない金融サービスの提供

エージェント・
インシュアランス・グループ



2025年1月

コスモアビリティ



インシュアテックの強化により
お客様・グループ内の利便性向上
顧客本位の運営をより徹底するためのシステム部門強化

グループ
拡大



- 01 | 2024年12月期 決算概要
- 02 | 2024年12月期 トピックス
- 03 | 2025年12月期 通期業績見通し





- 保険会社との更なる関係強化を図りながら、マーケットシェア拡大に向けた保険代理店のM&A及び事業承継を推進
- FJの通期連結寄与などにより、営業収益は+51.2%、営業利益は+85.3%と大幅増収増益を見込む

(百万円)	2024/12期	2025/12期	
	実績	通期予想	対前年増減率 (%)
営業収益	8,161	12,340	+51.2
国内事業	7,834	12,000	+53.2
海外事業	327	340	+3.9
営業利益	143	265	+85.3
国内事業	112	250	+121.6
海外事業	30	15	▲50.3
経常利益	133	255	+90.9
当期純利益	53	140	+162.4



- 近年の保険金不正請求や保険料調整行為等の問題を踏まえ、業界全体として改善に向けた取り組みを進める

保険業界が抱える問題

保険金不正請求

保険料調整行為

金融庁

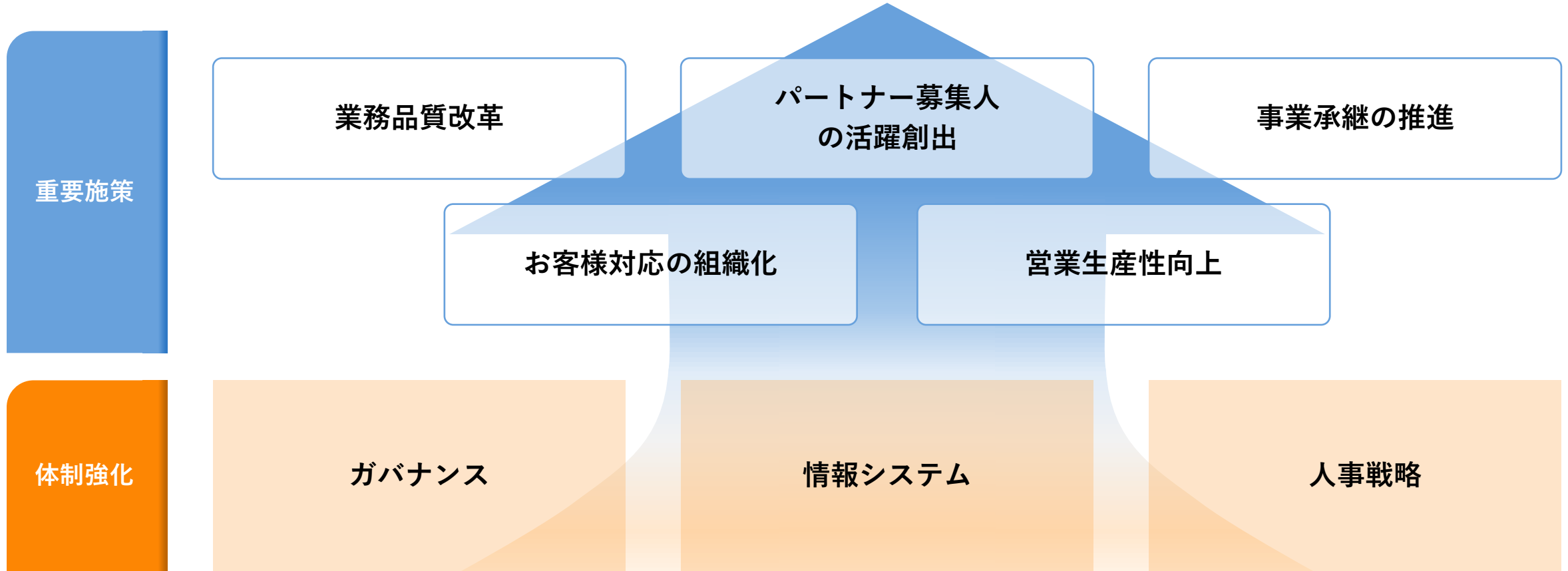
顧客本位の
業務運営の徹底

- 大規模代理店に対する指導等の実効性の確保
- 代理店手数料ポイント制度の見直し
- 保険会社による代理店等への過度な便宜供与等の制限
- 乗合代理店における適切な比較推奨販売の確保
- 代理店の兼業と保険金等支払管理部門の独立性確保等

徹底したルール遵守への対応と、業界再編の流れにおいてM&Aと事業承継を積極的に実施



- 業界の急速な変化に確実に対応できる強固な体制強化のもと、お客様の利益創出に最善を尽くす取組みを推進
- 会社規模の拡大と保険商品募集品質のクオリティ維持の両立に向け、戦略的にコストを投下予定



一定水準の利益は確保しつつも、戦略的にコスト投下



- 堅調な損害保険のマーケットシェア拡大に引き続き取り組み、さらに大手ブローカーとの提携強化で拡大を目指す
- 米国以外への進出を検討

海外事業



- 大手ブローカーとの提携強化による案件創出
- 損害保険のお客様への生命保険のクロスセルを推進
- M&A及び事業承継の更なる推進
- ローカルマーケットの新規開拓に注力
- 米国内出店エリアの拡大
- 米国以外への進出を検討



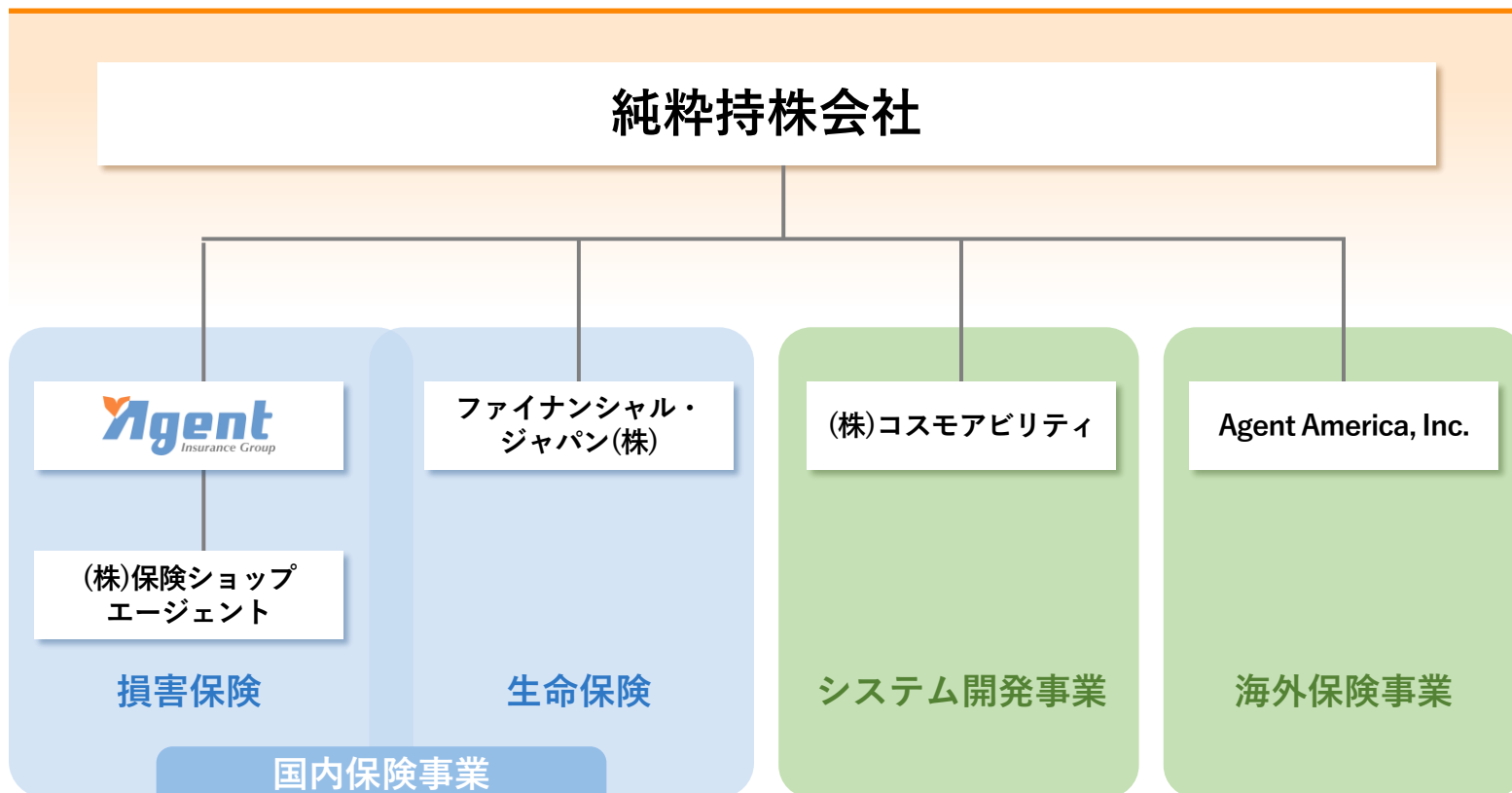
- 機動的かつ戦略的にM&A及び事業承継を行い、持続的成長と企業価値向上を実現できる企業体制を目指す

現在の体制



2025年7月～(予定)

今後の体制イメージ (ホールディングス化)





持株会社体制への移行(2)

- 単独株式移転により持株会社を設立後、グループ会社を再編
- 持株会社は名古屋証券取引所メイン市場に上場申請を行う

移行スケジュール

2025年2月14日

株式移転計画承認取締役会

2025年3月27日

株式移転計画承認定時株主総会

2025年6月27日

当社株式上場廃止

2025年7月1日

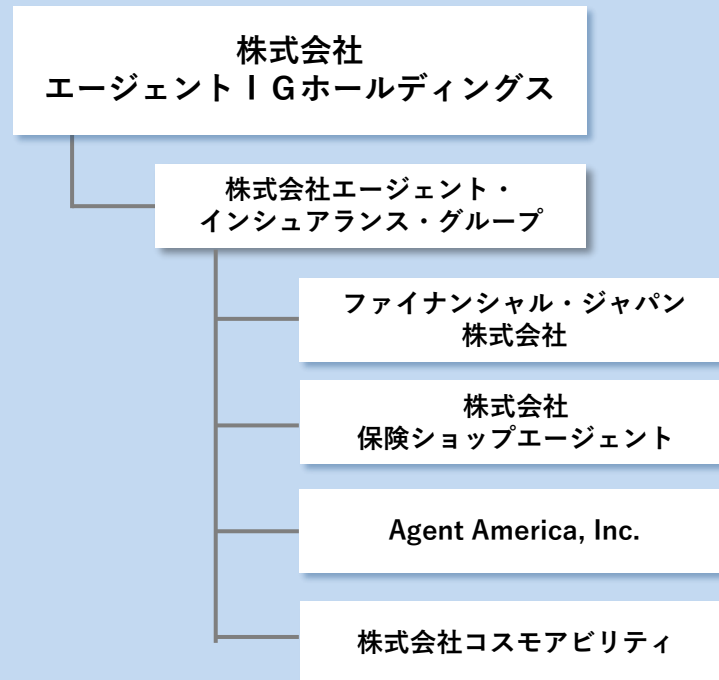
持株会社設立登記日（効力発生日）
持株会社上場日

※ 本株式移転の手續進行上の必要性その他の事由により日程を変更することがあります。

ステップ1

単独株式移転による 持株会社の設立

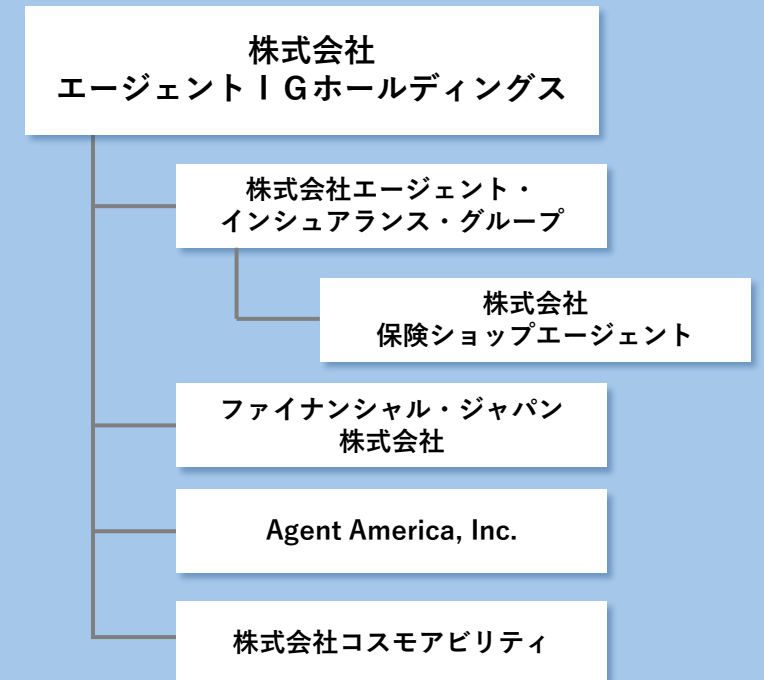
2025年7月1日を効力発生日とする本株式移転により持株会社を設立することで、当社は持株会社の完全子会社に



ステップ2

持株会社設立後の グループ会社の再編

本株式移転の効力発生後、持株会社体制への移行を完了するため、当社の子会社を持株会社が直接保有する子会社として再編





- 株式流動性の向上及び株主増加並びに株式の分布状況の改善を目的とし、株式の立会外分売を実施予定

株式立会外分売

分売予定株数	61,000株
分売実施予定期間	2025年2月27日（木）～3月3日（月）
分売の値段	分売実施日前日の終値を基準として決定
買付申込数量の限度	買付顧客1人につき1,000株（売買単位：100株）
実施取引所	名古屋証券取引所

過去実施済みの 取組み

●株式分売

分売実施日	2024年5月28日（火）
分売株数	50,000株
分売値段	1,453円
買付申込数量の限度	買付顧客1人につき1,000株（100株単位）
（参考）分売の算定基準日 及びその価格	2024年5月27日（月）1,498円 ディスカウント率 3.00%

株式の流動性の向上及び株主数増加、株式分布状況の改善

●代表取締役による当社株式の取得

取得時期	2024年5月28日（火）
取得株数	当社普通株式 40,000株
取得価額	1,498円（取得前日の当社株式終値）
取得方法	N-NET市場取引
取得相手	住友生命保険相互会社

株主の皆様との利害の一致、企業価値の向上



株式流動性の向上に向けた施策(2)

- 当社代表取締役社長及び取締役会長による当社株式の取得により、株主の皆様との利害の一致を図り、経営コミットメントを高める

経営陣による株式取得

取得者	・代表取締役社長 一戸敏 ・取締役会長 唐津敏徳
取得する株式	当社普通株式 7,000株（1人あたり）
取得時期	2025年2月27日（木）～3月3日（月）
取得価額	取得前日の終値
取得方法	N-NET市場取引
取得相手	住友生命保険相互会社

本株式取得の意義

- ・ 継続的成長に向けた確信の表明
- ・ 株主の皆様との利害の一致
- ・ 経営へのさらなるコミットメント



営業収益

保険代理店支援プラットフォームの拡大

独立系保険代理店の トップランナー

- トップセールスに依存しない、平準化された営業体制の構築
- 損害保険を中心に販売を行う、安定的な収益基盤
- 保険代理店の事業承継ニーズの受け皿としてのプラットフォーム構築
- 保険代理店としての保険会社からの高い評価

海外市場での展開

世界に打ち出す メイドインジャパンのクオリティ

- 日本の独立系保険代理店の中で、いち早く米国市場へ進出
- 米国内で38州において事業ライセンスを取得し、順次米国全土へ拡大
- 日本で培ったきめ細やかなサービスを武器に米国で展開

保険プラスαを提供する

ハイブリッド アドバイザー

- 販売チャネルの多様化を図り、お客様の課題解決力の向上
- 蓄積されたデータの活用による隣接業界への挑戦
- DX、AIを活用したさらなるマーケットの開拓を実現
- ファイナンシャル・ジャパン株式会社の既存事業である金融商品仲介業を強化推進


新規事業

海外事業

国内事業

現在

時間



2024年12月期
決算説明資料

株式会社 エージェント・インシュアランス・グループ

証券コード：5836

2025年2月